



カラスによる

可燃ごみの被害を防げ！



近年、カラスが可燃ごみを荒らす被害が各地で起こっています。カラスは学習能力に優れており、カラスを寄せ付けない対策をおこなっても慣れてしまい、効果が持続しません。カラスによる被害をすこしでも防ぐためにできることを紹介します。

私たちが出す可燃ごみには、多くの生ごみが入っており、雑食性のカラスに狙われています。すでにゴミ袋の中に生ごみがあることを学習しているカラスは、収集所に集められたゴミ袋に生ごみがないか探しやっけてきます。

すぐできる対策

生ごみは外から見えないように

カラスの嗅覚はあまり優れておらず、視覚でえさを探します。このため、肉の可能性のある赤っぽいものや魚の可能性のある濡れた

ものを狙う傾向があります。外から生ごみが入っているとわからないようリサイクルできない紙などで生ごみを包んで捨て、ゴミ袋の中に生ごみが入っていないと認識させましょう。

ごみの接触時間を減らす

可燃ごみに空き缶やビン、ペットボトル、金属類が入っていると収集ができず、収集所に残されてしまいます。分別をしつかりおこない、ごみをすべて収集してもらうことがカラス対策になります。

カラス除け

ネットによる対策

すでに利用している収集所も多いカラス除けネットですが、ちょっとした気配りで被害が減るかもしれません。カラス除けネットを利用する際のポイントを確認しましょう。

ごみ袋を完全に覆う

ごみ袋を入れたとき、ごみ袋の一部が外にはみ出していないか？そとに出してしまった部分はカラスに狙われてしまいます。すべ

てのごみ袋がネットの下に完全に
入るようにしましょう。

▽ごみが多い場所はネットを2枚利
用して覆う

▽穴が開いてしまったらすぐにビ
ニールひもなどでふさぐ

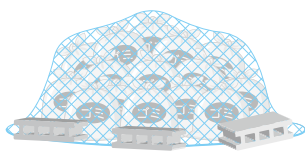
ネットの上にゴミ袋を置かない

せっかくネットを設置しても、
ごみを外に置いてしまったら意味
がありません。ゴミ袋はネットの
下にきちんと入れましょう。

ネットの周りに重りを置く

ネットは軽いため、風にあおら
れてめくれてしまったり、カラス
が下から頭を入れてごみを引きず
り出したりする可能性があります。
このような状況を防ぐには、ネッ
トの周りに重りを置くのが有効で
す。

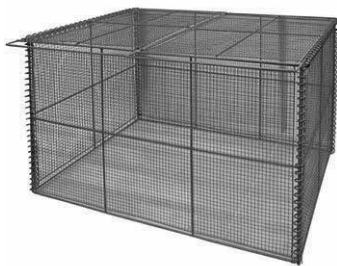
※ごみ収集後のネットの片づけは地
域の方のご協力をお願いします。



可燃ごみボックスによる対策

ガラス除けネットを利用しても、ガラスにつつかれて破れてしまうことや、ネットからはみ出たごみ袋からごみを引きずり出され散乱してしまうケースが多いため、今年度からごみの散乱を防ぎ、収集所をまとめることにより、回収効率をあげることを目的に可燃ごみボックスの無償貸出をはじめました。

可燃ごみボックス



ボックスサイズ 120 cm × 60 cm × 65 cm

▽7世帯以上の利用
▽通行の妨げにならない場所に設置
など、設置には基準があります。可燃ごみボックスの利用をお考えの方は環境経済課へご相談ください。

「現在、可燃ごみボックスを利用している方にお話を聞きました。」

今までは、ガラス除けネットで対策をしていましたが、ガラスにつつかれてネットに穴が開いたり、ネットの下に潜り込んでごみを荒らされたりしていました。近所に試験導入されたごみボックスがあり、以前からボックスがあると良いと話していたところ、可燃ごみボックスの貸出が開始されたので、すぐに申請をしました。



「可燃ごみボックスの用意や片づけはどのようになっていますか？」

朝は一番初めにごみを出す方に組み立てをお願いします。ただ、

導入を始めたばかりで組み立てをせず、ごみ袋を置いてしまう方もいますので、朝の当番を決めようか検討しています。片づけは日中に家にいる4名で順番におこなう予定です。

サイズが大きいため設置・片づけが大変そうに感じましたが、重さは気にならず、組み立てもしやすいとのことでした。可燃ごみボックスは導入されたばかりで、まだ利用者も少数ですが、可燃ごみボックス、ガラス除けネット、そしてちょっとした気配りで地域のガラス被害が減っていくと、より住みやすいまちになっていくと思います。皆さんも手軽にできることから対策を始めてみませんか。



可燃ごみボックスの寄附団体募集

ガラスによる被害は、多くの地区で発生しています。多くの方に利用いただけるよう、可燃ごみボックスの寄附を受け付けております。

いただいたボックスには寄附団体の名前を入れたプレートを付けさせていただきます。ぜひ、地域の環境保全にご協力お願いします。

問合せ先

環境経済課 ☎95-1613

